

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

研究計画書番号	RP1-75
研究課題名	原爆被爆者の寿命に関する放影研調査の研究計画書、広島および長崎
研究責任者（所属）	小笹晃太郎（放射線影響研究所）
試料・情報の利用目的及び 利用方法	<p>利用目的：放影研の寿命調査集団において、原爆放射線被曝の長期健康影響を調査します。研究を通して、被爆者の健康保持及び福祉に貢献するとともに、人類の保健の向上に寄与することを目指します。</p> <p>利用方法：調査対象者の方の原爆被爆状況に基づく被曝放射線量の推定値と追跡調査の結果（死因・がん罹患など）を比較して、原爆放射線被曝によるがんやその他の疾病のリスクの大きさを推定します。その際、調査対象者は匿名化され、個人が特定されることはありません。</p>
他の機関への提供の有無	<p><input checked="" type="checkbox"/>有（提供先機関：米国国立がん研究所、米国ヒロソフトインターナショナル）生年月日等を月単位に丸めるなどの匿名性を高める処置を行った上で、匿名化された個別データ（対応表は放影研に保持）として提供します。なお、本研究は基盤研究のため、本研究によって収集された情報が、他の研究計画の中で他の機関に提供される場合があります。その場合、その旨はその研究計画書に記載されます。</p> <p><input type="checkbox"/>無</p>
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	<p>1) 対面調査および質問票調査に基づく原爆被爆状況および生活状況等に関する情報</p> <p>2) 追跡調査に基づく生死および死因、がん罹患に関する情報 (がん罹患に関する情報は RP18-61 & RP29-60 で取得したものです)</p>
利用する者の範囲	<p>放射線影響研究所</p> <p>グラント・エリック</p> <p>小笹晃太郎</p> <p>坂田 律</p> <p>杉山裕美</p> <p>定金敦子</p> <p>歌田真依</p> <p>キム・ジェヨン</p> <p>カリングス・ハリー</p> <p>コローン・ジョン</p> <p>古川恭治</p>

	<p>フレンチ・ベンジャミン 三角宗近 疫学部原簿管理課・腫瘍組織登録室・病理学研究室・解析室の担当職員 統計部解析室の担当職員 米国国立がん研究所 馬淵清彦 ブレナー・アリーナ カフーン・エリザベス 米国ヒロソフトインターナショナル プレストン・デール</p>
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	小笹晃太郎（放射線影響研究所）
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏名：小笹晃太郎 公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131</p>